

# 日本のたまごは安全か？

## ～アニマルウェルフェアから考える～

日本は世界でも有数のたまご消費国。1日ほぼ1個、食べています。そんな身近なたまごですが、いま鶏の飼育方法の問題点が指摘され始めています。ワイヤー製の金網をいく段にも連ねて、その中に鶏を押し込めて飼育する「バタリーケージ」です。欧米では平飼いに切り替える動きが広がっていますが、日本ではいまだに約9割がバタリーケージを使用しています。狭いケージ飼いで鶏の健康が損なわれ薬剤が多用される結果、人の健康も脅かしています。具体的にどのような問題があるのか、アニマルウェルフェアの観点から専門家にお話しいただきます。また、昨年末に明らかになった鶏卵生産会社と農水大臣の“癒着”問題でにわかに注目を集めた「国際獣疫事務局（OIE）連絡協議会」でのアニマルウェルフェアをめぐるやり取りの実態について、同協議会メンバーから話を聞きます。日本のたまごは安全なのか、一緒に考えてみませんか？

**日時：2021年4月17日（土）13:30～15:30**

**会場：連合会館 2階 201 会議室**（東京都千代田区神田駿河台 3-2-11）

〔最寄駅〕地下鉄「新御茶ノ水駅」B3出口すぐ/JR「御茶ノ水駅」聖橋口5分

- **世界が進むアニマルウェルフェア革命**  
岡田千尋さん（アニマルライツセンター代表）
- **なぜアニマルウェルフェアで農水大臣わいろ問題が起きたのか？**  
天笠啓祐さん（科学ジャーナリスト、OIE 連絡協議会メンバー）

### 講師プロフィール



**おかだ・ちひろ** 2001年からアニマルライツセンターで調査、戦略立案などを担い、2003年から代表理事。主に畜産動物のアニマルウェルフェア向上や動物性製品の削減、ヴィーガンやエシカル消費の普及に取り組んでいる。

新型コロナウイルス感染予防対策として、完全予約制とします。定員は45名です。来場の際にはマスク着用をお願いします。緊急事態宣言発令等で会場が閉鎖された場合は、開催を中止・延期します。

参加費：1000円（会員500円）

**要予約**

<予約先> 電話：03-5155-4765/Eメール：office@fswatch.org

主催：食の安全・監視市民委員会